令和7年度 津島市民病院の現況

1.課題

- ①稼働率の上昇に伴い、重症度、医療・看護必要度の低下
- ・ 令和6年7月から空き病床を無くすためのベッドコントロールを実施したことにより、稼働率 が大きく向上し、経営改善に寄与
- ・ 一方で、重症度、医療・看護必要度の変動が生じ、感染症患者が多くなる1月~2月については、急性期入院料1(7:1)の維持が困難になる場面も発生

②地域包括ケア病棟の減算

- ・ 「入棟、転棟割合」の経過措置が令和7年5月末で終了
- ・ このままの運用では、年間約4,500万円の減収見込み
- ・ 施設基準を満たす新たな運用が必要

2.対応策

- ①転棟の推進
- ・ 急性期病棟にいる DPCⅢ期以上の患者を地域包括ケア病棟へ積極的に転棟する
- → 重症度、医療・看護必要度が上昇し、急性期入院料1(7:1)を安定的に維持

②直接入院の選定

- ・ 地域包括ケア病棟へ、歯科口腔外科患者の直接入院を受け入れ
- → 直接入院数を獲得することから、円滑な転棟コントロールが可能に
- → 経過措置終了後も基準を満たし、減収を回避

令和7年度 主な指標の推移(R7.4~R7.7)

()内は前年同月比較

〇入院			4月	5月	6月	7月
1	病床稼働率	(%)	78.7	72.3	64.6	66.0
	(全病床 352 床)		(14.8)	(14.5)	(7.4)	(▲8.2)
2	延入院患者数	(人)	8,306	7,884	6,820	7,203
			(1,559)	(1,577)	(784)	(▲897)
3	新入院患者数	(人)	481	458	487	492
J			(69)	(80)	(53)	(▲81)
4	入院稼働額	(千円)	462,261	465,400	414,575	441,434
			(84,422)	(107,034)	(51,950)	(▲39,999)
5	入院単価	(円)	55,654	59,031	60,788	61,285
			(▲347)	(2,211)	(711)	(1,849)
6	急性期重症度、	(9/)	17.8	22.1	24.3	20.7
0	医療·看護必要度	(%)	(-)	(-)	(0)	(▲0.2)
O _夕	 					
7	延外来患者数	(人)	10,981	10,643	10,952	11,647
7			(144)	(▲394)	(397)	(▲76)
0	新外来患者数	(人)	1,329	1,279	1,400	1,507
8			(▲117)	(▲193)	(62)	(▲86)
	外来稼働額	(千円)	162,668	162,070	168,592	181,219
9			(5,401)	(▲6,358)	(13,080)	(8,847)
10	外来単価	(円)	14,814	15,228	15,394	15,559
10			(302)	(▲32)	(661)	(855)
〇救	 [急					
11	数分市妥 2 粉	(人)	241	233	256	316
11	救急車受入数		(33)	(4)	(36)	(▲32)
12	救急車受入からの 入院数	(人)	108	97	110	121
			(20)	(7)	(19)	(▲27)
10	応需率	(%)	83.0	85.8	84.1	89.2
13			(▲2.2)	(▲1.8)	(▲5.3)	(2.8)
〇紹	引介・手術					
1.4	紹介件数	(件)	1,034	981	1,156	1,154
14			(▲5)	(▲64)	(158)	(0)
1 -	逆紹介件数	(件)	901	898	915	1,006
15			(15)	(▲35)	(16)	(4)
16	手術件数	(件)	166	171	152	158
			(70)	(48)	(25)	(▲3)